

## 感染症情報 4月1日～7日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,061例(堺市	67例)
②溶連菌感染症	369例(堺市	34例)
③RSウイルス感染症	201例(堺市	13例)
④伝染性紅斑	103例(堺市	8例)
⑤咽頭結膜熱	85例(堺市	9例)
⑤手足口病	85例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 285例(堺市 26例)

感染症報告数は前週比5.8%減の2,079件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱、同数で手足口病であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して3%減、堺市は14%増であった。溶連菌感染症は府下で14%減、堺市で35%減であった。RSウイルス感染症は府下で12%減、堺市で20例→13例であった。伝染性紅斑が府下で3%増、堺市で4例→8例となった。咽頭結膜熱が府下で9%減、堺市では10例→9例であった。手足口病が府下で5%増、堺市で1例→0例であった。

インフルエンザは府下で前週346例→今回285例は18%減で定点当たりの報告数は1.14→0.94となった。堺市では前週34例→今回26例となった(24%減)。

久しぶりに麻疹の報告はなかった。

風疹は府下で5例あり(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は103例となった。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対する『風しんの第5期定期接種』が、堺市でもまずは堺市在住の方を対象にスタートしている。詳しくは、堺市ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kansensho/yobo/rubella5th.html>へ。